

## 合格例

<試験官に関して>

外国人試験官：とても感じの良い若いアメリカ人(?)女性。ただ声が小さく、やや聞き取りにくかった。試験官慣れをしていないようで、シャイな様子で緊張しているようにも見えた。

通訳ガイド：

とても優しそうな感じの良い60才過ぎ(?)の男性。この方もやや声が小さく、冒頭の質問が聞き取りにくかった。終始笑顔でうなずいていたので、心強くもあったが、逆に“本当にうまくしゃべれているのだろうか?”という不安もよぎった。

人物考査担当試験官：

ちょっと厳しそうな中年男性。一言も発せず。ニコリともしなかったが、イヤな威圧感はなく、一生懸命聞いてくれている(観察している!)という印象。アイ・コンタクトもきちんととれた。

<面接試験の実際>

I: Hello! Nice to meet you all. (大きな声で元気良く挨拶)

NS, TG: Hello.

TG: Tell me your name and where you come from.

I: My name is ○○. I come from Nerima ward, Tokyo

NS: では。日本の地価は何故高いのですか?

I: 日本は土地が狭く、人口が多いからで、家もまた小さいです。私の家も小さいです。(地価の話から入ったのに家の大きさに話をそらしてしまつて失敗。だがこの後普通に会話が続いてゆく…)

NS: どの位の広さですか?

I: ○○㎡です。(平方メートルがうまく言えなかったが通じている様子だった)

NS: 部屋はどうですか?(何が聞きたかったかいまいち?)

I: 3部屋あります。台所と3部屋です。一般的な家だと思います。

NS: 日本の家屋は皆小さいのですか?

I: 田舎に行くと大きな家もありますが、東京のような大都市では小さいです。(一部の高級住宅地を無視してしまいました…)

NS: では、高齢化についてどう思いますか?

I: 最近深刻な問題となっています。出生率の低下により、経済も停滞してくるので問題です。避けられないことですが、何とかしなければならないと思います。

NS: どうすればいいのでしょうか?

I: 働く女性が容易に子供を産み育てることができるよう、政府が幼稚園など必要な施設を作ったり、補助金を出したりするべきだと思います。そうすればうまくゆくかもしれません。

NS: では、ゴールデンウィークとは何ですか?

I: 5月1日から5日までの連続休暇のことで、いつの頃からかは忘れましたが、忙しいビジネス・マンがもっと自由な時間がとれるように政府によって連続休暇となりました。(4月29日の休日の存在を忘れてしまい、おまけに政府が国民の休日と決めたのは5/4だけ。かなり大ざっぱな説明で失敗。でもこれにもTGの方はニコニコうなずいていた…)

NS: どのように過ごしますか?

I: ハイキングに行ったり、旅行に行ったりします。

NS: どこに行きますか?

- I: 温泉に言ったりします。日本には温泉が 2 万箇所あるので (NS、数字に驚く) 温泉に行くのが良いと思います。温泉がお勧めです。
- NS: 日本人は忙しいのでしょうか？
- I: はい。日本人は忙しくするのが好きなので観光もかけぬけるようにして、休暇をめいっぱい楽しみます。(NS,TG 笑う)
- NS: So, Thank you very much.
- I: Over?
- NS: Yes.
- TG: It's very short.
- I: Thank you very much. I enjoyed the interview.

<反省点>

面接時は緊張し、頭に血がのぼって落ち着いてしゃべることができませんでした。答え方もかなり大ざっぱで反省しています。笑顔で身振り手振りをまじえて一生懸命答えようとしている姿勢は伝わったと思いますが、どこまでそのパフォーマンスと明るさが評価されるか……。TG の暖かいまなざしとうなずきが本物だと信じ、あとは祈るのみです。